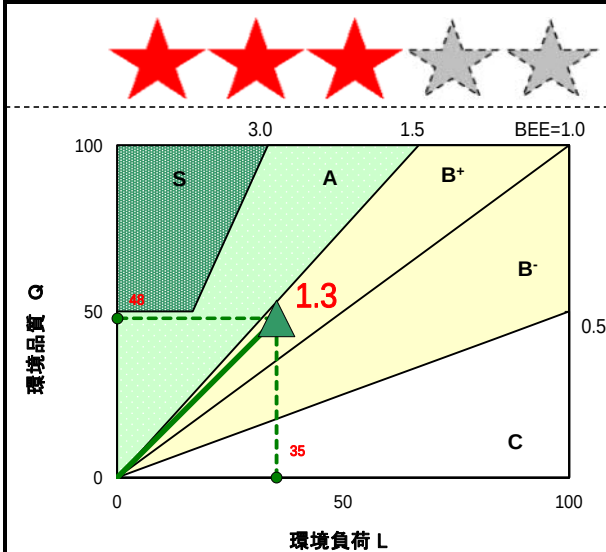


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンパーク桜町	階数	地上14階
建設地	熊本県熊本市中央区桜町2-3	構造	RC造
用途地域等	商業	平均居住人員	114 人
省エネ:地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年11月1日
敷地面積	513 m ²	作成者	(株)環境システム設計 馬場奈美
建築面積	383 m ²	確認日	2024年11月6日
延床面積	3,556 m ²	確認者	(株)環境システム設計 神川あかね
			

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



■ ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)



BEE = 1.3

$$\blacksquare \text{BEE(環境効率)} = \frac{\text{Q (環境品質)}}{\text{L (環境負荷)}}$$

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	－
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	－
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	－
C	★	劣る	0.5未満	－

■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

排出率

66%

3 熊本県重点評価結果

重点事項総合評価



評価点

79

評価点

■熊本県重点評価基準

判定値(評価点)	ランク表示
100点以上	
80点以上100点未満	
60点以上80点未満	
40点以上60点未満	
40点未満	

※評価点は、100点以上が推奨です。

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

97.3

【重点事項2】安全安心で暮らしやすい社会の実現

56.2

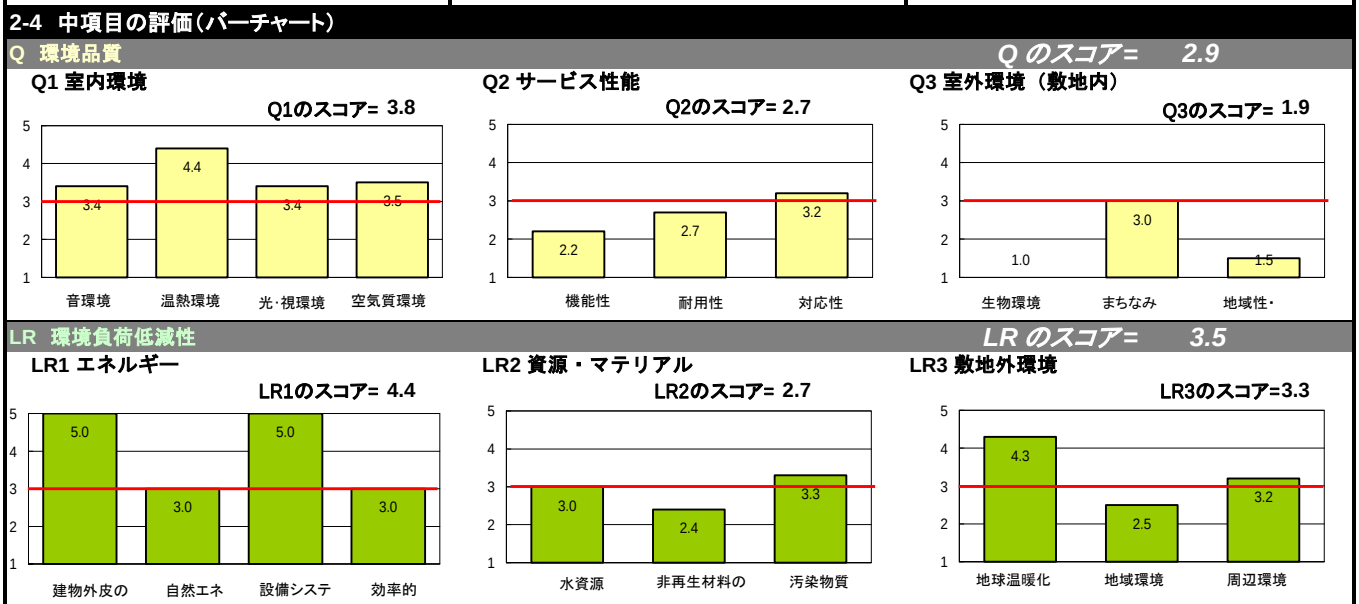
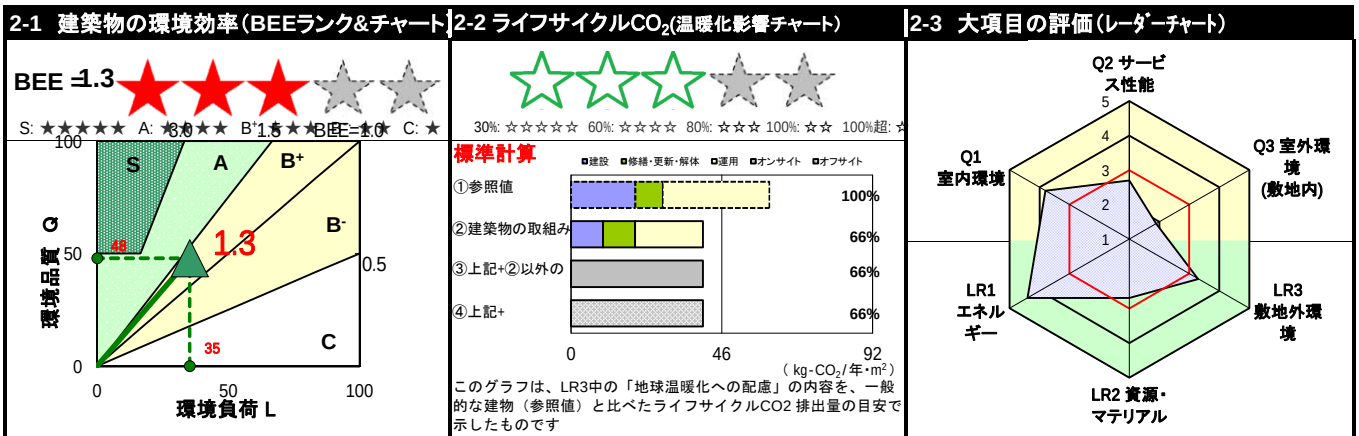
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

75.0

【重点事項4】 循環型社会の実現

70.8

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)サンパーク桜町	階数	地上14階
建設地	熊本県熊本市中央区桜町2-3	構造	RC造
用途地域等	商業	平均居住人員	114 人
省エネ・地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年9月 予定	評価の実施日	2024年11月1日
敷地面積	513 m ²	作成者	(株)環境システム設計 馬場奈美
建築面積	383 m ²	確認日	2024年11月6日
延床面積	3,556 m ²	確認者	(株)環境システム設計 神川あかね



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						2.9
Q1 室内環境			0.40		-	3.8
1 音環境		4.0	0.15	3.3	1.00	3.4
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	3.4
1.2 遮音		5.0	0.50	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能	遮音T-2を使用	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境		1.6	0.35	5.0	1.00	4.4
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00	4.4
1 室温	断熱性能等級5	3.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式		1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境		1.6	0.25	3.7	1.00	3.4
3.1 昼光利用		3.0	0.30	3.5	0.50	3.4
1 昼光率	住戸昼光率1.9%	-	-	4.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		1.0	0.30	4.0	0.50	
1 昼光制御	カーテンと庇(バルコニー)の2種類による制御	1.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		1.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.5	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	3.5
1 化学汚染物質	使用材料は全てF☆4以上	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	2.6	0.38	
1 換気量	居室面積の1/8以上の開放可能な窓を確保	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	2.7
1 機能性		2.4	0.40	2.2	1.00	2.2
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60	2.2
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	2.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.5	0.40	
1 広さ感・景観	天井高 2.5mを確保	3.0	-	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	2.7
1 維持管理に配慮した設計	洗浄可能で大きく異なる床材を接近させていない	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	2.7
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級2レベル	4.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水に塩ビライニング鋼管、排水に硬質塩化ビニル管	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		1.6	0.20	-	-	2.7
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.0	0.30	3.3	1.00	3.2
3.1 空間のゆとり			-	-	3.6	0.50	
	1 階高のゆとり	階高 2.96m確保	3.0	-	4.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能等級5	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.76	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	GWPPの低い断熱材を使用	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		換算スコア 4.3	4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行わない。さらに光害対策にも考慮	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

■ 環境関連の配慮事項

(仮称)サンパーク桜町

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合	ゆとりある空間を確保し、快適に生活・利用できる設計となっている。 また各住戸ZEHレベルの断熱性能及び一次エネルギー消費量を有しており、 地球温暖化や環境に配慮した建物である。	
Q1 室内環境	すべての住戸で断熱等級5(UA値0.6以下)を満たし、かつ開口部は遮音性能T-2を使用し、より 快適な室内環境を確保している。 また、建物全体において内装材はF☆☆☆☆を使用し、健康へも配慮している。	
Q2 サービス性能	階高・天井高を十分にとり、快適に過ごせる設計としている。	
Q3 室外環境 (敷地内)	周囲の環境に溶け込みやすいデザインを計画している。	
LR1 エネルギー	断熱性能、一次エネルギー共に高い水準であるZEHレベルを 確保することで、より一層の効率化を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料を使用し、環境汚染対策にも配慮している。	
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化への配慮がなされている。	
その他		

建物名称 (仮称)サンパーク桜町

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		79
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				97.3	0.40	38.92
Q1-2.1.2	外皮性能	4.4	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	3.5	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	5.0	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				56.2	0.20	11.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	1.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				75	0.20	15.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	3.0	0.29			
LR2-1.1	節水	3.0	0.43			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.29			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	0.0	0.00			
④ 循環型社会の実現				70.8	0.20	14.16
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.2	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20

※重み係数の総和は、「1」であること。

※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数